



印紙税納付計器使用請求書

令和 年 月 日

請求者	郵便番号	F05	—	提出先	F01		税務署長
	住所	F06					
	氏名又は名称 (カナ)	F03		代表者氏名 (カナ)	H06		
	氏名又は名称	F04		代表者氏名	H07		
	同上代理人 (カナ)	E01					
	同上代理人	E02					
設置場所	郵便番号	F08	—	電話番号	F10	—	—
	所在地	F09					
	名称	E03					

下記のとおり印紙税法施行令第 8 条第 4 項の規定により請求します。

計器の名称、型式 及び計器番号	名称		型式		計器番号	
	E04		E05		E06	
納付印の税務署名、 記号及び番号	税務署名		記号		番号	
	E07		E08		E09	
印紙税相当額 (措置を受けようとする金額)	G01		充当税額	G02		
「残額表示」欄 に押印した金額	G03		差引納付税額 (01-02-03)	G04		

参考事項	印紙税納付計器提示時における表示累計額 (回数)				G05		
	今 済 回 始 提 動 示 票 す 札 の 使 明 用 細	順号		表示金額 (回数)		表示残額 (回数)	
		C01		G06		G07	
		C02		G08		G09	
		C03		G10		G11	
		C04		G12		G13	
		C05		G14		G15	
		C06		G16		G17	
		C07		G18		G19	
		C08		G20		G21	
C09		G22		G23			

- 【注意】 1 この請求書を提出する場合、始動票札の印紙税納付計器にあっては、措置を受けようとする始動票札及び使用済の始動票札を掲示し、その他の印紙税納付計器にあっては、印紙税納付計器自体を提示してください。
- 2 前回措置した金額に残額がある場合には、「残額表示」欄に残額を押印してください。
- なお、残額が押印できないものや押印することが困難なものについては、右記「残額表示」欄に残額を記載して税務署員の確認を受けてください。
- 3 充当しようとする金額がある場合は、「印紙税過誤納確認申請（兼充当請求）書」により充当の請求をしてください。

残額表示

税務署整理欄	備考						順号	
	番号 確認	K21		身元 確認	K22		個人番号カード・通知カード・運転免許証 その他 ()	